

# 平成 26 年 第 4 回恵那市市民評価委員会

## 議事録（要約版）

日時：平成 26 年 10 月 1 日（水）

午前 10 時 00 分～

場所：恵那市役所会議棟中会議室 B

- 
- 1 委員長あいさつ
  - 2 会議の公開・会議録の公表について（確認）
  - 3 議事

評価事業のとりまとめ

- ・市立恵那病院管理経費
- ・バイオマスタウン構想事業
- ・木漏れ日作戦事業
- ・雇用対策推進事業
- ・選挙管理委員会事務
- ・老人クラブの運営支援
- ・こども元気プラザの運営
- ・商店街活性化事業
- ・明智観光関連施設管理事業・大正村コテージこもれび管理事業
- ・正家廃寺跡保存整備事業

- 4 その他

出席者（敬称略）

【委員】市川美彦、大竹典子、田口譲、柘植麻美、平野未帆、宮地政臣、三輪哲司

【欠席委員】奥村ひとみ

【オブザーバー】竹内泰夫

【事務局】総合政策課長 小林敏博 総合政策課係長 服藤知晃、総合政策課 佐古裕介

---

### 1 委員長あいさつ

■委員長 おはようございます。朝早くからありがとうございます。オブザーバーは遠いところからありがとうございます。御嶽山が水蒸気爆発した。40年近く前には人的被害はなかった。いまだに救出されない人がおり、大惨事になっている。

本日は先日皆様からチェックいただいたことについて事務局に整理いただいたものを中心として、最終的に市長への提言という形で、内容を精査いただき、この委員会の提言案にしたい。

### 2 会議の公開・会議録の公表について（確認）

■事務局（進行） 本日の会議は公開とし会議録を公表するので了解いただきたい。議長に進行していただく。

### 3 議事

■委員長 本日の議事は事前に資料1、2、3が配布されているので目を通していただいていると思う。案について順次意見をいただき、修正補足をしながらまとめとしたい。

■委員長 資料について事務局から説明をいただく。

#### [ 事務局から資料に基づき説明 ]

##### (1) 市立恵那病院管理経費について

■委員長 資料2も参考にしながら、公共性、公平性、有効性、効率性の評価をして、各委員からの意思表示の多いものを挙げている。正当性はAもしくはB、効率性はAもしくはBとなっている。これを含めて整理したい。それから、改善提案に記してある内容について、意見を出していただきたい。その点について、意見はあるか。

正当性、効率性のAもしくはBから整理をしながら、改善提案で付け加えるところ、修正するところがあったら意見をいただきたい。アドバイザーの先生からご意見があれば。

■オブザーバー 評価結果の一覧表を見ると、評価委員で全体的に厳しい評価をする人と、全体的にあまり厳しくない評価をする人がいる。その幅がある。その結果で、提言書の中の正当性評価、効率性評価の右端にA、B、Cが何人いるか書いてある。そこに反映されているのだと思う。事務局で整理した結果、たとえば、市立病院では効率性評価がAまたはB、正当性がAまたはB、これをどう絞っていくか。たとえば3ページの木漏れ日作戦の効率性は、事務局の整理ではA～Cと絞り切れていない。これをどう絞っていくか。そこを皆さんの意見を聞きたい。あまり杓子定規にやる必要はないと思うが。

- 委員長 各委員の捉え方を含めて内容をまとめたい。
- 委員 評価が委員の感覚によって分かれてしまう。まず数が多い評価プラスその事業の全体的な効率性、評価を見ながらA～Cをまとめられたらいいと思う。
- 委員 数字が分散している。ある程度多数決にしろやっついていかないといけない。
- 委員 言われる通りだ。これをまとめるより仕方ない。
- 委員 人によって評価の高いところもあれば低いところもあるので、これを元にまとめていく。
- 委員 個別に見ていくといいと思う。
- 副委員長 基準が個人で違うから評価がバラバラになるのは当然だ。でも提案して出すときは何かに決めないといけないのでみんなの意見で決めていくということだよ。
- 委員長 AもしくはBというところの絞り方。この内容は、現病院への認識から出ていると思う。そうすると必ずしもいい評価ということではなく、今後新しい病院に向けて現状の評価と、提言内容においてそういう形を表現するといいと思う。例えばこの前の視察で、委託する側の市と委託を受ける側の医療振興協会の関係の中で質問に対して明確な答弁がない部分があった。この二重構造に特化したとき、行政と振興協会が信頼関係の上で運営していくということもあると思う。29日で国保の特定健診が終わった。最後の方がすいていると思って行ったらかえって混んでいた。市民病院にかかっている患者が、治療には行くが特定健診の検査項目は外れているかもしれない。病院サイドからそういう人に特定健診受診についての進言をするのはできないものかと言ったら、難しいということだ。新しい病院の中で産婦人科の問題もあるが、新しく保健センターのようなものがそこに設置される。恵那市の男性の寿命は県下一悪い。男性は毎日 250 g ぐらい野菜を摂らないといけないという話も出てきている。そういう指導を特化してやれるようなことも、産婦人科の他に書いておく必要がある。名前は…。
- 事務局 健康センターです。
- 委員長 それに伴って保健センターが機構改革されるだろう。
- 事務局 健康センター機能は入れるが、今の保健センターが基本的に健康推進課に入るが、病院の方に健康センターを作る。
- 事務局 正式名称は健康管理センターといいます。
- 委員長 健康管理センターによる市民の予防医療、予防指導を特化してやることも盛り込まないといけない。そこを中心に市民の健康増進を積極的にやってほしいと付け加える必要がある。従って、全体的な現状としてはBぐらいだと思うがどうか。健康管理センターが併設されるということですよ。
- 事務局 人間ドックをそこでやっついていくというセッションができる。
- 委員長 従来の保健センターは変わるわけだろう。

■事務局 人間ドックは保健センターではやってなかった。新しい病院で、産婦人科と健康管理センターを付加する。行政の保健センターの機能は変わらない。行政と現場の指導が同じスタッフがいてやるということだ。市民の健康増進のための中核としての機能を果たすことを意識してくれということを入れるということか。

■委員長 そうだ。ただドックをやるだけでなく、行政の保健センターと連携して市民の予防医療的なことを要素として盛り込むということ、28年開業予定の病院の項目に入れて提言してはどうか。効率性、正当性はBでいいか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 恵那市の男性の寿命が一番短い。

■事務局 県下の中で男子寿命が短い。特に恵那市が総合計画でも課題としている健康、寿命の延伸というのはそういうことだ。それで野菜を食べようということになる。

■委員長 青汁ではなくて本当の野菜を消費するということだ。

■副委員長 寿命は栄養バランスによる。若いうちはいいが、年を取ると現れてくる。その方法は病院で、要するに予防医学だ。特に強調するべきだと私も思う。

■事務局 病院はできれば平成28年11月ぐらいにオープンさせたい。少し遅れている。

■委員長 市立恵那病院管理経費については終わる。

## (2) バイオマスタウン構想事業

■委員長 これはCと出ている。改善提案が出ているが、付け加えることがあれば出してほしい。戻るが、(1)市立恵那病院管理経費の展開方法の維持についてはそれでいいか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 よければ、バイオマスタウン構想事業について。

■委員 委員の中では堆肥が問題ないからアピールしてはという意見もあるが、このあたりはどうか。私は縮小方向でいいと思う。

■委員 特にない。

■委員長 中身が分からないということか。

■委員 そうだ。難しいことだと思う。アピールして有効活用するということでまたお金を使って事業拡大になると思うので、それで黒字になるならいいが、また赤字になるとよくない。

■委員 今言われたように、今までこんなのがあったのも知らなかった状態だ。その辺りは

PR 不足だと思うし、これに一生懸命かかっても無意味で、たくさんお金を使うべきではないと思うので縮小でいい。

■委員 職務は経済部でやっているが汚泥は明智でという対応だが、恵那市全体で汚泥ということなら、し尿、下水等が発生する。土岐も多治見で埋め立てしている。受け入れ先が満杯になると、自己処理が必要になる。そういう構想には総合計画ではなっていない。一部でやっているだけだから、市民自体が理解していない事業だ。Cでやむを得ない。

■委員 大事な事業だとは思いますが、難しい問題があると思うので、縮小でいいと思うが、それでもやる限り PR は必要だと思う。改善提案の中で PR のことを入れるべきだ。

■副委員長 非常に大事な事業で、お金もかかる。特に農業で使おうとしており、施設では処理に困っている。総合的に言って恵那市の中で循環するような構想になっている。非常に大事だが、実際やるには難しい問題がたくさんある。今後縮小しながら検討ということでもいいと思う。栗園の本格稼働は効果が見込まれるため、事業を継続すると書いてあるが、確かに農業面からみると新しいところを掘って栗の木を植えると、元々山なので有機質が足りない。だから堆肥を入れる。堆肥は広い意味がある。汚泥だけでなくほかの資源があるので、それを含めて家庭菜園などの構想に発展させるといい。市の構想としては大事だと思う。栗園の本格稼働という表現は、何か工場が稼働するような印象を受ける。栗はそういうわけにいかない。たとえば、栗の生産安定には堆肥は欠くことができないので、事業継続しつつと変更してもらいたい。農業は生産、栽培だから、稼働ではない、そういう表現にしてほしい。

■オブザーバー バイオマスタウン構想は恵那市に合った事業だと思う。改善提案で4つの方策のうち汚泥の堆肥化に特化しているのが問題だというのはその通りだが、4つのうち、1. 下水汚泥堆肥化、2. 家畜廃棄物の堆肥化、3. 食品系廃棄物の循環利用、4. 森林資源を原料とした木質ペレット等の燃料利用があり、1~3の廃棄物系の問題はコストもかかるし利用が進まないが、4は非常に重要な課題だと思う。バイオマスタウンの中で重点を4に移すか、木質ペレットをバイオマスタウンというタイトルでなく森林資源の有効利用という別な施策で発展させてもいいが。ペレット（の燃料利用）が消えるというのは残念だと思う。

■委員長 たしかにバイオマスタウン構想は4つの視点がある。現在2の家畜排せつ物は一部民間で実施して、その肥料は販売している。できれば1と2は実施をしている民間に行政対応しながら適切な対応の仕方をするをを推奨するということだと思う。3の食品系廃棄物は、今消防署の向こうに行政と市民の協働行動でエコプラザがあり、家庭から出る再生の3R活動を中心にやっている。その中で出てくるものをさらに段ボールなどの中で堆肥化してそれで畑をやってもものを作っている。そういう協働、環境課とエコプラザの活用も具体化して市民に周知を図ることによって、食品系もゼロではなく、現実にやって

いることがまだ市民に周知されていないということだ。こういったことは、当市は農家が多いので農家に還元することによる特産品の問題も出てくると思う。一番手がけてないのが、4の木質ペレット。10数年前に恵南集中豪雨で間伐材を放置しており、大雨で二次災害が起こった。間伐材＝プラントをどう作るかという問題だ。恵那市もたんぼぼ作業所が一部手掛けている。私もペレットストーブを使っている。当初伊那森林組合で作っているペレットを使っていた。今は近所のものを使っている。質がいいと灰が少ない。1シーズン使って、塗装用のドラム缶に8割ぐらいの灰しか溜まらない。木材より灰の排出量が少なく、においがいいし、CO2を発生しない。このことについては、もう少し事業ベースに乗るか乗らないかという問題もある。たんぼぼ作業所も試行段階でやっている。あそこのものは少し品質が悪い。当市の4つの構想の手掛けがゼロならともかく、そういう手がけがされているので、それをどう総合的にやっていくのかが必要。現実着手されている団体があるわけなので、本格的に方向付けるためにどのように行政がかかわるか。今後のあり方はそういうことを検討してほしい。むしろ今後の展開方法は、将来的な方向付けを検討ということで、縮小すべきではないと思うがいかがか。食品系の廃棄物については今の段階が今後13地域の自治連、地域協議会に宣伝して市民に周知を図る行動を起こしていきたいという言い方をしていたので、私もその担当はまちづくり推進課なので、環境課と併せてその宣伝の方策を考えてくれという話はしておいた。4つの分野ゼロではなく、取り組んでいく可能性があるということをいかに今後検討して拡大するかという問題提起をしたほうがいいと思うがいかがか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 では、縮小ではなく検討とする。

### (3) 木漏れ日作戦事業

■委員長 正当性、有効性の評価について意見をいただきたい。

■委員 視察の時、いなかったなので意見はない。

■委員 市がやらないと民間ではできないと思うので正当性評価はBでいいと思う。

■委員 民間では手が出ないので、市でやらなければ仕方ない。見に行って思うのは、やはりやってもらわないと困るので、続けてやっていくということでもいいと思う。

■委員 建設部が所管で実施しているが、市民の命についての交通安全は部局が違うので、交通安全の係の方を使いながら把握して危険なところから優先的に伐採するなどの対応がいい。建設部だけでなく、交通安全でも幅広い人が活躍しているのでその人の意見を聞きながら優先順位をつけて計画的にやってほしい。

■委員 市道の木なので市がかかわらないといけない。具体的方法は分からないが、Bでいい。

■副委員長 非常に大事な事業だ。市民が通るごとに慣れてくる。市民を通してほかの人も通るので、そう考えると、国をあげてやる仕事だとは思いますが、まず市道からやってほしい。総合評価では正当性はBでいい。

■オブザーバー Bでよいと思う。

■委員長 では、正当性、効率性はBでよいか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 改善提案としては全体を通して、担当課のみならず交通安全の視点から市全体がこういうところのチェック、実施、計画的な進め方についてやっていくという表現で書いてあるが、提案の内容はこれでいいか。

■オブザーバー 評価の全体の話で、正当性はBで、効率性も含めてBということか。

■委員長 そうだ。

■事務局 4つの評価含めてか。

■オブザーバー 市長提言のときはこのペーパーでいくのか。

■事務局 6個評価がでます。公共性、公平性でまとめが出て、有効性、効率性でまとめができる。

■オブザーバー そうすると、効率性A～Cとなっているのは絞らなくていいのか。

■事務局 絞らないといけない。それがBになる。

■オブザーバー よく分からない。行政では4つの視点でグラフがある。これは公表されている。市民委員会では4つの視点を2つずつに束ねて、さらに全体を束ねる。6つということは束ねないということか。

■事務局 はい。束ねずに、今後の展開方法で最終的なまとめをしている。

■オブザーバー 公共性、公平性、有効性、効率性を2つに絞り、公共性と公平性、有効性と効率性とした。公共性と公平性は2つの見方の表裏である。が、有効性と効率性は大分違う概念だ。有効性は目的系で、効率性は手段系の視点だ。絞るときに、有効性はあるが効率性が悪いということは、有効性も発揮されていないのではないかと、つまり効率性のほうが重要な指標だと思う。そうすると、効率性のまとめはCでいいのではないかと。有効性はAまたはB、効率性はCとあるもののまとめ方を、後半に重点を置いてまとめればいいのではないかと感じた。また、繰り返しになるが、一方行政の評価表は非常に低い。木漏れ日作戦の成果表は有効性も効率性もCと、自己評価が低い。それを市民委員会でBと言うと、市民委員会は甘い

と市民から思われぬか。結論として、効率性はCでいいのではないか。

■委員長 評価のレーダーチャートもそうなっている。というご意見で従って、この場合はCの評価が2人いる。効率性は、それがマッチして有効性の評価に切り替わっていくわけだが、ここについては、今ご指摘のようにCでよいか。一番数として多いところが評価してあるので。では、正当性はB、効率性はCと改める。

■事務局 効率性評価の全体的まとめとしては、有効性C、効率性C、まとめとしてCでよいか。

■委員長 よい。継続ということで括弧書きを含める。

■オブザーバー 正当性と効率性の2つを含めた総合評価と提案が書かれた改善提案とすれば、改善提案というのは公共性と公平性の改善はないということか。効率性評価の中でしか提案はないという、それはそれで意味があるかもしれない。でも、公平性についての提案はあるのではないか。偏っているから対象の範囲を変えた方がいいといった提案はあると思う。

■事務局 改善提案は効率性だけのものではなく、正当性を含めたものである。

■オブザーバー だったらレイアウトを変えた方がよい。

■事務局 その通りで、ここを切るレイアウトにするべきだ。改善提案が正当性、効率性両方含めての改善提案とわかるようにする。

■委員長 様式が変わるのか。

■事務局 改善提案の上に1行隙間を入れる。1番目に正当性の評価、2番目に効率性の評価、隙間を入れ、全体改善提案、今後の方向、という様式に変える。

■委員長 それがいい。1ページ目からそうしてほしい。

■事務局 そうします。

#### (4) 雇用対策推進事業

■委員長 公平性の評価が分かれている。議論して考えたい。A～Cが分散している。意見をいただきたい。

■委員 公平に分配されているかということになると難しい問題だ。今のやり方としては市も関わりあってやっていかなければ難しい。(高校の)新卒者の就職状況では100名近くは常にいるということだ。100名では足りないという個人の見解もあるので難しいと思うがうまくいっているほうだと思う。

■委員 市内の企業の育成や人口の定着を促進するには当面この施策を継続するのはやむをえない。公平性はBぐらいでどうかと思う。

■委員 地元を求めている人にとっては公平に与えられる機会だと思う。市がやることで公平性も上がるので、全体的にはBかと思う。



■委員 うちの母が先日職安に行ったが、68歳で年齢のため仕事がなかった。お年寄りも動けるのに家にいても仕方ない。シルバー人材センターもあるが、そこに入る年齢でもないの、時給が安くてもいいので年を取った人、退職したばかりの人が働けるようなところがもう少しあれば生きる元気になると思う。公平性はBでいいと思う。

■委員 職を求めている人に対しては公平性がある。それ以外の面でも雇用は大事なことになるので、市がかかわることで安心感があるので、公平性はAか、Aに近いBだと思う。

■副委員長 Bでいい。改善提案にあるように、地元就職してくださいというのは定住に結びつくので続けてもらいたい。企業側も地元の人を採用していると思うが、より積極的にやってもらいたい。

■オブザーバー いいと思う。Bでいい。

■委員長 有効性についてはどうか。

■委員 有効性が高いのではないかと思う、Aだと思う。

■委員 この事業については、いろいろな企業がみえてやるものがありますよね？

■委員 就職面接会。今年は東美濃で8月にやった。三菱のブースが一番多かった。

■事務局 行列になっていた。

■委員 Aでよいと思う。

■委員 市が関わってやってくれていると思うので、このままAもしくはBでいい。

■委員 私は今の状況で言えばBぐらいだと思う。

■委員 イベントの来場者も多いし、事業として企業と職を求めている方とマッチングする場所として有効性があるように感じる。Aでよいと思う。

■副委員長 Aでよいと思う。大事なことになるので続けなさいといけない。改善しながらやってもらいたい。

■オブザーバー 事務局のまとめではBになっている。これをAに上げるかという議論か。私も重要な事業だと思う。ハローワークとの役割分担はどうなっているのか気になるが、Aでよいと思う。

■委員長 Aになる根拠として完全提案に付け加えないといけないのは、少子高齢化に向かうとき全国的にも地域的にも企業の人材確保の問題が必ず出てくる。今のうちに当市で住み続けられる若い労働者を確保できるように。それは雇用のあり方、それがパートではなく正社員、一定の水準の給与ということを企業が理解し努力して採用するという。企業でも、将来のあり方が少子高齢化では大変なので、人材を確保してもらう前提で、雇用の正社員化、給与の支払いについて対策協議会の中でももう少し位置付けて、そういう視点を持った上で考えてもらうということを提案に加えた上で、有効性をAにしてはどうか。

■委員 その通りだ。

■委員長 では有効性をAとして、全体的にはBでいいか。改善提案の中に、対策協議会のあり方を記載する。企業においても少子高齢化は影響を及ぼすことである。地元の若い人材確保のための雇用のあり方、給与のあり方への協力をしてほしい。そういう前提の中で地元への就職が可能となってくる。

■事務局 確認したい。正当性評価は、公共性はB、公平性はB、まとめもBでいいか。

■委員長 よい。

[ 休 憩 ]

#### (5) 選挙管理委員会事務

■委員長 再開する。皆さんの評価と事務局の評価は同じだ。改善提案の中でつけ加える点があれば。

■委員 この通りだ。

■委員 これでいいと思うが、所によって20時までやっているがそこまでやらないといけないかという思いはある。

■委員長 串原、飯地などは。

■委員 そちらは18時だ。

■委員長 終わりの時間は、投票率の高いところで、20時までやる必要があるかどうかの検討ということだ。有権者の数と投票時間の検討を、

■委員 もう少しやってほしいと思う。

■委員長 もう一つは人口比に対して投票所の職員が節減できると思う。ここにも書いてある。この表現は合理化を進めるべきであるということだが、もう一つは、有権者数における投票時間の短縮が図れる場所があると思う。

■委員 それも付け加えてほしい。

■委員長 正当性、効率性は、事務局もAとしている。国民としての権利を行使する事業なので。これでいいか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 それでは継続とする。

#### (6) 老人クラブの運営支援

■委員長 意見がわかれているのは、有効性と効率性のBもしくはC、同時に、正当性もBもしくはCとなっている。意見をいただきたい。

■委員 老人クラブは中身があまり冴えてない。珍しいことも大事だと思うが、マンネリなことをやっているのでは脱会することが多いと前回委員長が言われていた。私もそう思う。クラブの会長も毎年同じ人がやっていると思うが、趣向を工夫してもらい、恵那市の老人がどの地域の人でも参加できるようにしたほうがいいと思う。

■委員長 今年では会長が変わった。

■委員 老人クラブは重要だが会員数が伸びてない、加入率が低いということが問題だと思う。有効性がBで効率性がCになると思う。

■委員長 正当性は。

■委員 Bかと。これからのことを考えて、上げた方がいい。

■委員 老人クラブは60歳以上だが、若すぎると思う。先ほど雇用のところでもあったが、まだ働きたい人が多い。定年が延びている。それも考えて改善してほしい。

■委員 対象者はこれから増える。人生経験豊かな人材を改善提案のような形で、うまく使いながら施策を展開してほしい。全部Bでどうか。

■委員 正当性はB、効率性は、60代はまだ若いのと、今いろんな選択肢があるのでもっと魅力ある老人クラブにしてほしいという気持ちで、C。トータル的にはB。

■副委員長 Bでいいと思う。ただ、地域の社会の延長でいく。特に大井とか長島のようなところは低い。そうでないところは地域の社会の延長でそのまま入ってしまうのでいい。その辺の改善をしないとうまくいかないと思う。いろいろ問題はある。

■オブザーバー 正当性のまとめはB、有効性はB、効率性もB、効率性のまとめもBでどうか。

■委員長 改善提案は、現在60歳という現役引退の年齢を対象としているが、今時代の趨勢の中で現役組が多いので、加入年齢の見直しも含めたことを入れてほしい。正当性評価B、効率性評価B、改善をするということにしていかが。

[ 賛成の声あり ]

#### (7) こども元気プラザの運営

■委員長 公平性の部分で意見が分かれている。

■平野委員 小さい子を育てている人のサポート事業として必要事業だと思うので正当性は改善も含めてB。効率性は、もっと幅広く利用できるように改善するというでB。全体的にも、重要な事業だと思うので改善しつつ継続。

■委員 全市的には偏っていると思うので改善してはどうか。恵南にも施策として提案できるように計画できないかということで正当性、効率性ともBくらいの位置づけでどうか。

■委員 このような事業は必要なので、全体的に見て正当性、効率性ともにBだと思う。

■副委員長 Bでいいと思う。少子化で子育ては重要なので、改善しながら続けるということだよと思う。

■オブザーバー 公平性はB、正当性はB、効率性はBでよいのではないか。

■委員長 正当性はB、効率性はBということでもいいか。

[ 賛成の声あり ]

■事務局 正当性評価の公平性の評価が、事務局案がA～Cだが、これはBでよいか。

■委員長 よい。改善提案で付け加えることはないか。また、展開方法は括弧書きを含めた継続でいいか。

[ 賛成の声あり ]

#### (8) 商店街活性化事業

■委員長 皆さんが現場を見た判断でこうなっている。付け加えることはないか。

商店連合会は大井町のみならず岩村、明智においても関連する。大井町商店街を見てもらったが、上矢作にもある。この辺の4カ所を商店連合会とみる。それぞれの各地区計画でも上がってくると思うが、大井町で言われているのは、今居住している人がいて水回りが生活者のものになっているので、店舗を借りても水回りが使えないということだ。4カ所を含めて、空き店舗は実質活用できる家の数を明確にして、どういう人がそこに入るのかを考える。恵那農高が加工などいろいろなことをやっている。花や野菜もやっている。貸してもらえらるなら恵那農高の実践として空き店舗活用する。セーラー服を着た子がうろろすればにぎわう。また、土日中心に中山道広場、行在所のすぐそばの私有地で朝市もやっている。そういうことも含めて13地域で、その地域でしかやらないということではなく、大井町の空き店舗のようなところを活用して、特産品を販売するという呼びかけをしたらどうかということが地区計画で言われている。各地区でもそういう課題が出てくるのかなと思う。その中で1つここにも記載があるが、活用できる空き店舗を明確にして、その店舗をどういう人たちが活用するかという形で取り組むことが必要だと思う。空き店舗の明確化とそれをどのように地域で使うかということの問題提起してもらいたい。展開宝庫は改善ということだが、検討しないといけない。活用の検討を含めた改善ということかどうか。

[ 賛成の声あり ]

(9) 明智観光関連施設管理事業・大正村コテージこもれび管理事業

- 委員長 改善提案も含めて何か意見はあるか。コテージはいいところだった。
- 委員 もったいない。
- 委員長 もうちょっとPR活動が必要。市内はもとより。私も初めて行った。これだけの人数の中でも初めての人がいた。多くの人が知らないと思う。周知の努力が必要だ。
- 委員 今回は明智だけを取り入れているから、新市になってからは串原にも上矢作にもあるので、もう少し公の施設として検討すべきということを入れたい。一つだけでは。
- 委員長 発信するということは、13地域の中にある類似した施設をネットワーク化して活用できる工夫、情報発信をしてもらうことを付け加えてもらえればと思う。外からの目線で、オブザーバーの意見は。
- オブザーバー いいところだった。もっと活用できたらと思う。
- 委員長 改善提案では、13地域の類似施設のネットワーク化および情報発信という文言を付け加えるということでしょうか。

[ 賛成の声あり ]

(10) 正家廃寺跡保存整備事業

- 委員長 議論をいただきたい。正当性、公平性、効率性について意見が分かれている。
- 委員 視察に行っておらず、興味もないので分からない。公共性はBでよいかと思う。
- 委員 文化財保護の面からは公共性は高いと思うが、お金をかけてやっているということと、興味のない人にとっては必要ないと思われる。正当性はB、公平性もB。効率性も心情的にはBなのかと思う。
- 委員 今言われたようなことが正しい。興味がある人はすごく興味があるが、興味のない人には無関心で終わる。文化的には今言われたような評価になる。これからどうするかというと、あのままの状態で見せるより仕方ない。あれをどのように観光化していくかというようにはいかないと思う。評価は今言われたような形でよいと思う。
- 委員 保存会の方から叱咤激励を受けて、13年に貴重な文化財的なものが出て、この頃動き出した状況。市で早く取り組んで、掘ることもこのごろちよくちよくやっているがまだいいものが出るのかもしれないが、用地だけは取得して少しまた掘るという状況だ。今度のふるさと祭りでも、出てきた木簡を基に、保存会が頑張っているの、早く貴重なものがあるのか計画してほしい。
- 委員 個人的には興味がある。公平性があると思うので、B。説明を受ければ分かるが、どんな価値があつてどんなものがあるか分からないので、とても重要なものがあるということPRしてくれるといい。全体的にBだと思う。

■副委員長 文化財の評価は難しい。大事なことだが、今の私たちには直接には関係ない。古代の人たちがいたところが残っているということを知って、その子孫が私たちなので、そういう文化があって、しかも木簡が出ていることが重要で、そういうところに住んでいるということなので、自分たちも勉強すると同時に、よその人にも知らせることが大事だ。A評価をしたいところだが、Bか。

■オブザーバー 東山道、中山道、リニア新幹線という大きな流れで見たとき、日本の歴史は2千年とか、非常に重要な場所だと思う。日本の中心的な意味もあるので、何かPRできないかと思う。これをてこにまちづくりができないかなという印象を受けた。できれば再建してほしい。できなければCGでもいいが。図面があるかどうか分からないが。

■委員長 まとめると行政では公共性A、市民委員会の評価と同じ。市民評価は有効性、効率性は高いが、公平性はBだが、それでいいか。正当性の全体Bでいいか。効率性はBでいいか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 改善提案で、国の史跡指定を受けており、あれ以上のことをするのかどうかというのが求められるところだ。正家廃寺がどういう規模のものか、柱の太さを含めて想定はできるが、確定したものがない。そういう不確定なものを再建することがどうなのか。むしろそういう史跡を巡って想像するロマンのほうがいいのか。ただし、以前市民評価委員会の中で歩いたおおご資料館が物置になっている。そういうことを考えるとお客さんが来て史跡探索と旧恵那市の中の史跡を一堂に展示できる資料館を作って売り込みを図る。たとえば、松阪の隣の斎宮は、今でも調査しているが、あの資料館には周辺の遺跡が分かるように分類されていて、地域性などが分かるようになっている。あそこの再整備というのはどういう再整備にするかというイメージを明確にして、それを市民に知らせながら意見を聞くことが必要。そのことが、今関心がない人に知らせることになる。改善提案には、今後進めていく計画のイメージを明確にして市民に明らかにしたらどうかということをつけ加えてはどうか。従って正当性、効率性もBだが、今後の展開方法としてはイメージを明らかにすることによって市民の理解を深め、計画を進めていくということで継続でどうか。

[ 賛成の声あり ]

■委員長 全体を通して意見があれば。事務局は何かあるか。

■事務局 8ページの商店街活性化事業の効率性評価のまとめはBかCか。

- 委員長 Cだ。改善も、活用型の検討を含めて改善ということで括弧書きをつける。
- 委員 こども元気プラザの運営。ファミリーサポート事業の資格を取る募集が広報であったと思うが。
- 事務局 ファミリーサポートセンターは特に資格はない。緊急サポートのほうはある。特にケアの必要な病後児を預かる人は10数時間の講習を受けることになっている。通常の預かりであれば誰でも登録すればいい。
- 委員長 今日の事業についての提案をまとめたが、これについて市長に提言する、日程について事務局から。
- 事務局 本日皆様方に協議をいただき、評価を決定していただいた。展開方法、改善提案も意見をいただいたので、それをもとに事務局で提言書の修正を行い、市川委員長、田口副委員長に最終確認をいただき市長への提言書とする。提言書は市長への提言の前に各委員に送付して目を通してもらう。提言の日は、11月4日火曜日4時半からとしたい。ご都合をお願いしたい。また、提言の終了後にはお疲れさまの会を行いたい。
- 委員長 日程調整をお願いしたい。そのほか、委員、事務局からあるか。
- 事務局 11月4日に提言すると、27年度の予算に反映させるので、その結果を3月に委員会を開き報告する。
- オブザーバー 委員意見改善メモはホームページには載せるのか。
- 事務局 各課に周知するだけだ。
- 委員長 資料2のことだ。
- オブザーバー このまま載せてもかまわないと思うが。
- 事務局 市民の方が素直に感じたことなので、各課がこれを捉えて参考にしてもらうという理解だ。まとめたのは提言のほうで。
- オブザーバー ホームページには載せないほうがいいということか。
- 事務局 そうです。議事録は公開なので公開しても問題ないが。
- 委員長 これだけでは委員会はどのような議論をしてきたのか分からないので、補足資料としてこれも公開の原則で公開してほしい。
- 事務局 今日出た資料は公開だ。間違えました。
- 委員長 そうしないと提言案のまとめだけではどういうやりとりがあつてこうなったか市民は分からない。お願いします。
- 副委員長 提案したものを、予算に反映する。そのときに、なるべく具体的な例を1つ入れてほしい。抽象論になってしまう。その辺を考慮してほしい。具体的なものを全部は書けないと思うので、こんなことを改善した、実施したということ。1つでいいので。
- 委員長 よろしくをお願いしたい。
- 事務局 了解した。

■委員長 では閉会のあいさつを。

■副委員長 今日で第4回が終わった。1回から3回までは意見を聞いて評価に至った。私思うに、非常に短い期間で効率よくやった。それはいいが、効率についていけない部分も委員の中にあっただと思う。その辺も含めて今後のありかたを考え、次年度に生かしてほしい。

本日は評価でA～Cまで分かれたものを一つにまとめ、改善提案にもそれぞれ中身に手を入れ、市長への提言となる。今日の委員会を終わる。御苦労様でした。

[ 閉 会 ]